

西山 宝恵 (NISHIYAMA Tomie)

年生まれ。専門は、宗教社会学。博士後期課程2年。日本学術振興会特別研究員DC。

タルコット・パーソンズの理論研究。その現代的意義を明らかにするために、まずは後期パーソンズとフランス社会学との関わり - アラン・トゥレーヌによるパーソンズ批判、フランソワ・ブリコーによるパーソンズ解釈等 - について検討していく。

現在は、

主要業績

論文

- ・2006, 「パーソンズのデュルケム論 普遍主義的紐帯の可能性」『社会学研究』79:141-163.
- ・2005, 「後期パーソンズの宗教社会学の視座 伝統宗教から新しい宗教性へ」『社会学研究』77:81-100.

リンク

研究カテゴリ
